

女性研究者養成システム改革加速講演会

日 時：平成 25 年 11 月 15 日（金）16：30～18：00

場 所：生活環境系D棟地階 D012 室

テーマ：多様化する大学院生をどう育てるか？

講 師：近田 政博 氏（名古屋大学 高等教育センター、同大学院教育発達科学研究科 高等教育学講座 准教授）

主 催：奈良女子大学男女共同参画推進機構（女性研究者養成システム改革推進本部、キャリア開発支援本部、ファカルティ・ディベロップメント推進室）

参加者：本学教職員・ポスドク・院生、学生、一般（30 名）

[開催趣旨]

今日の大学院では他大学出身者、外国人留学生、社会人の割合が大きくなってきており、伝統的な研究室の徒弟制度で育った多くの大学教員は、すっかり多様化した大学院教育の現場で試行錯誤しながら研究指導を行っている状況にある。他教員の事例を多く知っている授業とは異なり、研究室運営や研究指導のロールモデルは非常に限られている。本講演会では、近田政博先生（名大高等教育センター）を講師としてお招きし、大学院生と指導教員の間にもどのような認識ギャップがあるのかをご紹介頂き、そのギャップを克服する手段について考えてみたい。

なお、本講演会は「スキルアップのための教職員研修会」と題して実施された。

[講演概要]

講演会は定刻に竹中氏（キャリア開発支援本部）の司会で開始された。講演に先立ちキャリア開発支援本部長 岩渕先生の挨拶があった。

近田先生のご講演は以下のような内容を含んでいた。

- ・大学院教育の動向
- ・大学院教育の課題
- ・個別指導への提案

大学院教育の動向については、平成 17 年度辺りから徐々に政府による大学院教育の活性化策が採られるようになり、特に近年「博士課程リーディングプログラム」などの活性化策が顕著である。学部と大学院の設置基準上の違いは、学部が授業（コースワーク）中心であるのに対して大学院は授業と研究指導が並列する点にある。以前に比べて他大学からの大学院入学者及び社会人や外国人の入学者の割合が増加するとともに、従前の学術志向の強い研究者養成あるいは専門知識やスキルを求める高度専門職業人志向の院生に加え、モラトリアム期や社会人の学び直し期の人達も大学院で学習するようになり、院生の出身

背景や学習動機も多様化してきている。

このような状況のもと、大学院教育の改革動向として、コースワークの充実・研究指導体制の充実・キャリア支援・多様な学生への配慮が求められている。また、別の問題として、大学側には博士課程の定員充足率が悪い・ポスドクの不安定さのためドクターコースへの進学を勧めにくい・成果主義が広がり長期的なテーマ設定が難しいなどの問題があり、学生側には基礎学力の低下・長期にわたる就職活動・マラトリウム化などの問題がある。

ところで現在の学生にどのようなリテラシーやスキルが欠如しているのであろうか。講師の近田先生は、まず、日本語リテラシーの不足をあげられた。論理的に文章を書くスキルを磨く必要がある。また、社会的スキル、特にタイムマネジメント・コミュニケーション・危機管理能力などのスキルも不足しているとのことである。このようなリテラシーやスキルを身につけさせるのは学部生あるいは院生を対象に、アカデミックライティングなどそれなりのコースワークを設定する必要がある。

個別指導への提案については、教員と院生の認識ギャップを小さくするためにできることを、a 他大学出身者、b 外国人留学生、c 社会人学生に場合分けして紹介された。

約1時間の講演の後、会場から多くの質問があり、活発な質疑応答が行われた。

最後に、ファカルティ・ディベロップメント推進室長 出田先生の挨拶があった。

教職員研修会

教職員を対象にしていますが、ポスドク、博士後期課程、博士前期課程、学部生、一般の方の聴講も歓迎します 事前申し込み不要

多様化する大学院生を どう育てるか？

非アカデミック **アカデミック**

「科学技術・学術調査会人材委員会第三次調査関連セミナー」から編集

今日の大学院では他大学出身者、外国人留学生、社会人の割合が大きくなっています。伝統的な研究室の徒弟制度で育った多くの大学教員は、すっかり多様化した大学院教育の現場で試行錯誤しながら研究指導を行っています。他教員の事例を多く知っている授業とは異なり、研究室運営や研究指導のロールモデルは非常に限られています。このセミナーでは大学院生と指導教員の間にどのような認識ギャップがあるのかをご紹介します、そのギャップを克服する手段について議論します。

日時: 平成 25年11月15日(金) 16:30~18:00
講師: 近田 政博さん
(名古屋大学 高等教育研究センター 准教授)
会場: 生環系D棟地階 D012 教室

【主催】 奈良女子大学 男女共同参画推進機構 キャリア開発支援本部
奈良女子大学 男女共同参画推進機構 女性研究者養成システム改革推進本部
奈良女子大学 ファカルティ・ディベロップメント推進室

問い合わせはキャリア開発支援本部(H棟501)まで Tel/Fax: 0742-20-3572 career-k@cc.nara-wu.ac.jp